

豊中だより

(令和2年1月28日発行)
宇都宮市立豊郷中学校 校長室
～感動のある学校 豊郷中～

令和2年がスタートしました！！

令和2年、ねずみ年のスタートです。干支でいうと十二支の中ではトップバターの「ねずみ」です。何か物事を始めるのには、とっても良い年であると聞いたことがあります。今までやろうと思っていたけど、手が出せなかったことにチャレンジするのによいかもしれません。

今年のお正月は、非常に穏やかな日が多く、令和2年が素晴らしい年となることを予感させてくれるようで、楽しみにもなりました。令和2年、2020年は待ちに待った「東京オリンピック・パラリンピック」の年です。早くも3月26日より聖火リレーが福島県のJビレッジを出発し、3月30日にはここ宇都宮でも聖火リレーが行われます。いよいよオリンピックがやってきます。生徒の皆さんには、ぜひ世界最大のスポーツの祭典「東京オリンピック・パラリンピック」を肌で感じて欲しいと思います。



学校給食週間が実施されました

1月24日（金）～30日（木）までの1週間は、全国学校給食週間です。1月の「給食だより」でお知らせした通り、豊郷中では、20日（月）～24日（金）までを給食週間として、食べることの大切さを理解したり、給食に感謝したりするなど、改めて考える期間としました。この間に、給食が始まったころの給食を再現したり、郷土料理やご当地グルメを紹介したりするなど、食文化を感じてもらう給食でした。最終日の24日には、宇都宮市の統一献立「宮っ子ランチ（冬）」が提供されました。「宮っ子ランチ」とは、私たちの住む宇都宮市の気候風土や先人によって培われた食文化への理解を深め、郷土への愛情を育むことを目的とした献立です。今回提供した冬号は宇都宮に伝わる「黄ぶな」の伝説にちなんだメニューです。どんな思いが込められた献立なのかは、お子さんにお聞きください。また、学校だよりと一緒に、ホームページでも紹介いたします。

献立紹介「黄ぶなランチ」



「昔天然痘が流行った時に、黄色いふなが市中心部の田川で釣れ、病人がその身を食べたところ治癒した。」という伝説にちなんで、病気除けとして黄ぶなの形をした物を毎年新年に神に供えるようになりました。

この献立は、黄ぶなにまつわる伝説と今では宇都宮を代表する縁起物として親しまれていることを児童生徒に知らせるとともに、今年1年健康に過ごそうとする意欲をもたせる献立です。

第1学年「職業人に聞く」

1月23日（木）には、キャリア教育の一環として様々な職業の方々を学校にお招きして、それぞれの仕事について話をさせていただきました。お招きしたのは、スポーツ関係（栃木 SC）、医師、消防士、飲食業（寿司屋）、美容師、保育士、設計士の7つの職業です。生徒は、この中から2つの職業を選び講話を聞きました。仕事の内容や楽しさ、苦労、仕事の適性や必要な資格、中学校時代にどんなことを心がけたら良いかなど、様々なことを教えていただきました。



おめでたいお知らせ

このたび、3年生の学年主任である松本清美先生が、日本全国で優れた成果を上げた教員だけに贈られる「令和元年度文部科学大臣優秀教職員」として表彰されました。栃木県内では、わずか17名（宇都宮市で3名）の荣誉ある賞です。

ご本人にお聞きしたところ、「皆さんのおかげで大きな賞をいただきました。ありがとうございます。」とのことでした。

おめでとうございます。これからの益々の活躍も期待しています！！

